



7/20  
(木)

## 令和5年度戦没者追悼式 平和な日々感謝

7月20日、令和5年度長島町戦没者追悼式が町開発総合センターで執り行われました。

式には、遺族のほか、町関係者など約40人が参列し、戦没者に対して黙とうが行われました。

追悼のことばでは、終戦から78年が経過し、戦争によってもたらされた悲しみと苦しみを忘れてはないと述べられ、献花台に花が手向けられました。

遺族会会長の濱畑順一さん（小浜）は「戦後78年を迎え、我が国は繁栄しました。この喜びを先人たちと分かち合えないことは残念です。私たち

献花をする参列者



が享受している平和な日々の喜びの陰には、尊<sup>じゆんこく</sup>殉国の犠牲が秘められていることを忘れません」と語りました。

7/21  
(金)

## 除草剤散布ボランティア より良い景観へ

7月21日、町内の事業者によるボランティアでの除草剤散布が行われました。

町が観光・景観対策として行っている「ぐるっと一周フラワーロード整備事業」の一環として、建友会を中心とした町内事業者と町により実施されました。

例年、町内の道路では、梅雨明けの時期に除草が間に合わず、雑草が繁殖し、景観を阻害している状況がありました。これを改善するため、初めて行われたものです。

除草剤を散布する建友会会員



建友会の木場盛二会長は「長島の景観がより良くなってほしい」と汗を流していました。

7/22  
(土)

## わくわくどきどき科学教室 in 長島 不思議がいっぱい

7月22日と23日の2日間、町開発総合センターと町文化ホールで「わくわくどきどき科学教室in長島」が開催されました。

子どもたちが長島町の自然の素晴らしさに触れるとともに、身近な科学体験をすることで、科学に対する興味や関心を深めることを目的に実施され、町内外から約230人の参加がありました。

当日は、町内の小中学校や県内外の高校、大学、専門学校の協力のもと、ジオラマ作成体験や化石発掘体験、ろ過装置作成体験などが行われました。



ウミホテルの発光実験を体験した竹田悠篤君（川床小3年）は「光っているのがすごく不思議だった。自由研究の参考にしたい」と目を輝かせていました。